

## 令和元年第 23 回教育委員会定例会

開会年月日 令和元年 12 月 9 日 (月)  
場 所 教育委員会室

出席者 教育委員会 教育長 河 口 浩  
同 委 員 新 井 良 保  
同 委 員 坂 口 節 子  
同 委 員 高 柳 誠  
同 委 員 伊 神 泉

## 議 題

## 1 陳情

- (1) 平成 19 年陳情第 4 号 「八の釜の湧き水」と憩いの森の消失に関する陳情について  
〔継続審議〕
- (2) 平成 23 年陳情第 4 号 災害時と放射能対策に関する陳情書〔継続審議〕
- (3) 平成 23 年陳情第 20 号 子ども達を放射能汚染、特に内部被曝から守るための陳情書  
〔継続審議〕
- (4) 平成 25 年陳情第 9 号 都市計画道路補助 135 号線の整備計画 (素案) の抜本的見直しを  
求める陳情〔継続審議〕
- (5) 平成 26 年陳情第 1 号 都市計画道路補助第 135 号線整備計画 (素案) の撤回を求める陳  
情〔継続審議〕
- (6) 平成 26 年陳情第 2 号 特別支援学級での肢体不自由児への対応を求めることについて  
〔継続審議〕
- (7) 平成 27 年陳情第 6 号 情緒障害等通級指導学級での指導の存続と情緒障害児教育の充実  
・発展を求める陳情〔継続審議〕
- (8) 平成 27 年陳情第 9 号 区立小中学校への「学校司書」配置を求める陳情書〔継続審議〕
- (9) 令和元年陳情第 3 号 大泉第二中学校の教育環境保全に関する陳情〔継続審議〕
- (10) 令和元年陳情第 4 号 大泉南小学校の教育環境保全に関する陳情〔継続審議〕

## 2 協議

- (1) 旭丘・小竹地区における新たな小中一貫教育校の設置について〔継続審議〕
- (2) 令和元年度教育に関する事務の管理等に係る点検・評価について〔継続審議〕

## 3 報告

- (1) 教育長報告
  - ① 令和元年度第四回練馬区議会定例会提出議案について
  - ② 公共施設等総合管理計画〔実施計画〕(令和 2 年度～5 年度) (素案) について

- ③ 令和2年度入学中学校選択制度の選択希望状況および公開抽選について
- ④ 第四次練馬区子ども読書活動推進計画(素案)について
- ⑤ 移動型外遊びの場提供事業の試行結果について
- ⑥ 第2期練馬区子ども・子育て支援事業計画(素案)について
- ⑦ 保育所等保育料の算定誤りにについて
- ⑧ その他
  - i 令和2年健やかカレンダーの配布について
  - ii その他

開 会            午前 10時00分  
 閉 会            午前 11時29分

会議に出席した者の職・氏名

教育振興部長	木 村 勝 巳
こども家庭部長	小 暮 文 夫
教育振興部教育総務課長	櫻 井 和 之
同 教育施策課長	吹 野 浩 一
同 学務課長	清 水 輝 一
同 学校施設課長	竹 内 康 雄
同 保健給食課長	小 林 敏 行
同 教育指導課長	谷 口 雄 磨
同 学校教育支援センター所長	小 野 弥 生
同 光が丘図書館長	清 水 優 子
こども家庭部子育て支援課長	山 根 由 美 子
同 こども施策企画課長	太 田 喜 子
同 保育課長	宮 原 正 量
同 保育計画調整課長	大 窪 達 也
同 青少年課長	石 原 清 年
同 練馬子ども家庭支援センター所長	今 井 薫

教育長

ただいまから、令和元年23回教育委員会定例会を開会する。

本日は、傍聴の方が2名いらっしゃる。

それでは、案件に沿って進めさせていただく。本日の案件は、陳情10件、協議2件、教育長報告8件である。

- (1) 平成19年陳情第4号 「八の釜の湧き水」と憩いの森の消失に関する陳情について  
〔継続審議〕
- (2) 平成23年陳情第4号 災害時と放射能対策に関する陳情書〔継続審議〕

- (3) 平成23年陳情第20号 子ども達を放射能汚染、特に内部被曝から守るための陳情書〔継続審議〕
- (4) 平成25年陳情第9号 都市計画道路補助135号線の整備計画(素案)の抜本的見直しを求める陳情〔継続審議〕
- (5) 平成26年陳情第1号 都市計画道路補助第135号線整備計画(素案)の撤回を求める陳情〔継続審議〕
- (6) 平成26年陳情第2号 特別支援学級での肢体不自由児への対応を求めることについて〔継続審議〕
- (7) 平成27年陳情第6号 情緒障害等通級指導学級での指導の存続と情緒障害児教育の充実・発展を求める陳情〔継続審議〕
- (8) 平成27年陳情第9号 区立小中学校への「学校司書」配置を求める陳情書〔継続審議〕
- (9) 令和元年陳情第3号 大泉第二中学校の教育環境保全に関する陳情〔継続審議〕
- (10) 令和元年陳情第4号 大泉南小学校の教育環境保全に関する陳情〔継続審議〕

教育長

はじめに、陳情案件である。

継続審議中の陳情10件については、事務局より新たに報告される事項や大きな状況の変化はないと聞いている。したがって、本日は、全て継続としたいと思うが、よろしいか。

委員一同

はい。

教育長

それでは、そのようにさせていただく。

- (1) 旭丘・小竹地区における新たな小中一貫教育校の設置について〔継続審議〕
- (2) 令和元年度教育に関する事務の管理等に係る点検・評価について〔継続審議〕

教育長

次に、協議案件である。協議(1)旭丘・小竹地区における新たな小中一貫教育校の設置については、本日、口頭報告がある。それでは、報告をお願いする。

教育施策課長

旭丘・小竹地区における新たな小中一貫教育校の設置に向けた保護者および地域説明会の開催について、口頭報告させていただく。

8月の本委員会でご報告させていただいたとおり、地域において、保護者、町会、学校評議員等の代表者で構成される検討組織、小中一貫推進委員会を10月から設置し、新校設置に向けた検討を進めている。

参加者を通じて関係者にご周知いただいているところだが、広く保護者および地域の

皆様を対象に、区の小中一貫教育の取組や、新校の開校に向けた検討内容等についてご説明するため、12月20日、日曜日に、旭丘中学校体育館で地域説明会を開催する。

当日の配付資料、また、いただいたご意見、ご質問等については集約の上、本委員会に後日ご報告させていただく。

報告は以上である。

教育長

旭丘・小竹地区における新たな小中一貫教育校の設置について、今後の方向性を含め、12月20日に住民説明会を開催するという口頭報告があった。何かご質問、ご意見はあるか。よろしいか。

それでは、この協議案件については次回以降へ継続とする。事務局は、説明会の開催結果等についても今後の教育委員会で適宜報告を行うよう、よろしくお願いいたします。

その他の協議案件である。協議（2）令和元年度教育に関する事務の管理等に係る点検・評価について。この協議案件については本日のところは継続とし、次回以降に協議を行いたいと思うが、よろしいか。

委員一同

はい。

教育長

それでは、そのようにさせていただく。

(1) 教育長報告

- ① 令和元第四回練馬区議会定例会提出議案について
- ② 公共施設等総合管理計画〔実施計画〕（令和2年度～5年度）（素案）について
- ③ 令和2年度入学中学校選択制度の選択希望状況および公開抽選について
- ④ 第四次練馬区子ども読書活動推進計画（素案）について
- ⑤ 移動型外遊びの場提供事業の試行結果について
- ⑥ 第2期練馬区子ども・子育て支援事業計画（素案）について
- ⑦ 保育所等保育料の算定誤りについて
- ⑧ その他
  - i 令和2年健やかカレンダーの配布について
  - ii その他

教育長

次に、教育長報告である。本日は8件ご報告する。

それでは、報告の①番をお願いします。

教育総務課長

資料に基づき説明

教育長

区長に依頼した議案について、区長から議会に提出された。これらについては、第4回定例会で議決されるが、3番の練馬区立幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例については、先に議決され、既に終わっている。1番と2番については、第4回定例会最終日である今週の金曜日に議決される予定である。

何かご質問はあるか。よろしいか。

それでは、報告の②番をお願いします。

教育総務課長・教育施策課長

資料に基づき説明

教育長

この公共施設等総合管理計画には、改修・改築のこと、長寿命化の考え方のこと、それから委託・民営化に関する事などが記載されている。この素案がまとまったということで、これから区民意見反映制度に基づいた手続に入る。

学校の改築は、現在、下石神井小学校と石神井小学校、大泉西中学校、それから関町北小学校で工事が進んでいる。上石神井北小学校は、現在、基本設計をやっており、来年度に実施設計を行う。また、ご承知のとおり、旭丘小学校と旭丘中学校については、小中一貫教育校をつくるということで、来年度、基本設計に入りたいと思っている。それから、今回、新たに向山小学校と田柄中学校を改築対象校として位置づけている。今後は、毎年度2校ぐらいずつ、改築対象校を公表していく予定である。

今まで60年経った場合に改築を行うと言っていたが、長寿命化できるものについては長寿命化していくというのが、区の基本的な考え方となる。今回、長寿命化ができるか調査したところ、33ページの表にあるとおり、長寿命化できそうな学校が幾つか出てきた。長寿命化をする学校と、改築をせざるを得ない学校とに振り分けながら、今後、学校の改築と長寿命化を進めていく。

何かご質問、ご意見があったらお出しいただきたい。いかがか。

高柳委員

このように、いろいろな区の施設、教育委員会にかかわる施設について、総合管理計画でわかりやすく示していただくと、私たちも先の見通しがわかるし、また区民の方々にとっても大変わかりやすいと思った。

それぞれ今後検討していくことはたくさんあると思うが、よろしくをお願いします。

教育長

ほかにいかがか。よろしいか。

それでは、報告の③番をお願いします。

学務課長

## 資料に基づき説明

教育長

毎年行っている中学校選択制度の状況について、報告があった。対象となった6校は、全て抽選を行ったのか。

学務課長

はい。

教育長

何かご質問、ご意見はあるか。よろしいか。  
それでは、報告の④番をお願いします。

光が丘図書館長

## 資料に基づき説明

教育長

第四次の練馬区子ども読書活動推進計画の素案がまとまったということで説明があった。これも先ほどの公共施設等総合管理計画と同じように素案であるので、これからパブリックコメントの手続きを経て成案となる。  
何かご意見、ご質問があれば、お出しいただきたい。

坂口委員

44ページの推進会議の提言はよくまとまっていて、大変感動した。今、子供たちだけでなく、社会全体が本を読まない時代だが、たくさんの目標や施策があり、それぞれに働きかけている。公共の図書館は、公共の公園と同じで誰もが自由に出入りできる場所であり、文化の拠点、自分たちの知的な興味が培われる場所であるということをもっと認識してほしいと思う。

今回、9ページ、目標4の施策2番に日本語を母語としない子供への支援を打ち立てている。この施策を見ると、32ページの2に、区立図書館の多言語対応の整備について書いてある。外国の方が何を公共の図書館に求めるのか考えたときに、新聞や絵本が置いてあることも非常にうれしいと思うが、やはりICT化かなと思う。図書館に行けばパソコンが置いてあって、自分の国のニュースや社会の様子がわかる、そういうことかなとかいろいろ考えた。ほんとうに今、隣に外国の方がいるという社会になってきているので、図書館は誰でも利用していいパブリックな施設だということを実践できるよう、充実して欲しいと思う。

教育長

ほかはいかがか。

新井委員

2ページの第五、計画の推進体制にPDCAサイクルとあるが、練馬区子ども読書活動推進会議を常設して検証していくという、特にCのチェックが一番大事ではないかと考えている。チェックに基づいて、アクション、改革、改善がされる。そして、さらにそれを検証した上で、P、計画に反映されていく。ぜひPDCAサイクルのCに重点を置いて、結果の点検評価をしていただきたい。

教育長

ほかにいかがか。

高柳委員

今、説明を聞き、計画を読ませていただいて、大変わかりやすく、よくできていると思った。9ページ、10ページにあるように、各年代に焦点を合わせて、乳幼児、小中学生、高校年代、支援を必要とする子供、それから読書活動の推進という形で、施策や重点的な取組が、非常によくまとめられていると思う。

四、五日前の新聞で、先日の国際学習調査の結果が大きく取り上げられ、さまざまな論評等が出ていた。ご存知のように、読解力は大分落ちてきた。これは学者の意見だが、国語教育の推進だけでなく、読書活動をもっと充実させていかなければいけない。特に長文を読んだり、それから、古典や現代の名作と言われる文章を幼少期や小中学生、高校生の若い年代で目に触れさせ、本に親しむこと、読書が好きな子供たちを育てることが肝要であるとあった。私も、そのとおりだと思う。

小さなうち、感受性が豊かなうちに、読書っていいものだな、本っていいものだなというような気持ちを持つことは、一生涯、本に親しむ、生涯学習につながっていくと思う。そういう意味で、親子で利用しやすい図書館の整備とか、小中学生の家庭読書の推進、読書環境の整備、読書活動への関心を高める取組は大切だと思う。それから、高校生年代では、啓発事業、グループ学習室等が、この年代に図書館に来てもらう、また、友達と一緒にいろいろな活動をとおして本を楽しんでもらうことにつながるいい取組だと思う。

今後、区民の方々からいろいろな意見を聞くのだろうが、それぞれの年代のニーズに応じた取組を進めていただき、子供たちや青少年をはじめ、全区民が本のよさや読書活動の楽しさを知る、そういう取組を進めていただければありがたい。

教育長

ほかにいかがか。

新井委員

5ページ、4の支援を必要とする子供の読書活動の推進のところに、布の絵本の写真がある。布の絵本は、絵本というよりは教材教具の一つとなる。障害がある子供たちにとっては、五感を通して感じられるものが非常に重要で、こういう絵本と教具、遊具の要素を備えた布の絵本は、素晴らしいと思う。ぜひ各図書館に、こういった布の絵本等

の手づくりの絵本、教材教具をそろえていただければ大変ありがたい。

教育長

ほかにいかがか。

伊神委員

私も、先日のマスコミ報道を見て、読書が注目されていると思った。日本の子供たちの国語力が、世界的に見てもかなり下がっていること、急激に下がっていることをとても懸念されていて、読解力、その次は会話力、そしてコミュニケーション能力、最終的には生きる力ということを書いていた。もちろん取り組まれているけれども、今頑張っただけで踏ん張っていかねばどんどん落ちていく。これは練馬区の子供たちも同様だと思うし、これだけの期間で下がったのだから、上がるのはこの3倍、5倍かかるのではないかと思っている。

30代ぐらいまでの方たちは、子供の頃、学校で読み聞かせ読書をやっていた。今は、スマホ等が普及していく中で、学校側が頑張っても、親が本を読みなさいと言っても、なかなか子供に通じないというのが現実だと思う。何か調べるときも、スマホで調べられるようになり、辞書を開いて調べるということをやらなくなった。そういうことを思うと、このすばらしい素案をどうやって子供たちに響かせていくのだろうか、期待と不安を思っただけで拝見させていただいた。

これは結果を出さなければいけないということではないが、常に先を見越して手を抜かないでやっていくことが、今の子供たちをつくっていくのではないかと思う。結果、もしかしたら読解力は上がっていかないかもしれない。それでもやり続けることが、将来の子供たちのために絶対にいいことだと私は思っている。期待しているので、よろしく願います。

教育長

国際学習調査は、いろいろな要因があつてあのような結果になったと思うので、日本の子供たちの国語力が落ちたとは一概には言えないと思う。

学校でも、本を読むことに対する誘導をいろいろな工夫の中でやっている。新しい学習指導要領の中でもそうであるし、我々が今年選定した小学校の教科書を見ても、国語の教科書には必ず読書へのいざないが載っている。国語というのは、日本人である以上、私たちが生きていく上で一番必要な土台であり、これからも大事にしてもらえると思っている。

ただ、当然のことながら、学校だけではなく、家庭や地域の中でどのように子供たちを育てていくのか。そこに、読解力を伸ばす、読書を増やすということをどう位置づけ発展させていくのか。それには、図書館の役割が非常に大きいと思っている。公共図書館と学校図書館、それから学校での事業が三位一体となって、子供たちが育つ過程の中で、本を読む習慣を身につけてもらうことが大事である。

この第四次の子ども読書活動推進計画の素案は、このタイミングで出るので、パブリックコメントでは多くの意見が出ると思っている。教育委員会としても、関心を持って



この推移を見守り、これからの子供たちのために読書活動が推進されるよう、我々も行動を起こしていかなければいけないと思っている。

よろしいか。それでは、次の案件に移る。報告の⑤番をお願いします。

子育て支援課長

資料に基づき説明

教育長

今年度、新しく試行ではじめた「おひさまてくてく」について、来年度は本格実施をし、年4回に増やして充実させていくということで説明があった。

何かご質問、ご意見はあるか。

坂口委員

私は、1回目の「おひさまてくてく」に参加させていただいた。ちょうど葉が落ちて、森が明るい中、子供たちが落ち葉に戯れて遊んでいる様子はすごくよかった。この申し込みは、チラシか何かで募集するのか。

子育て支援課長

今、試行で実施をしている団体は、例えば幼稚園や保育園など、近隣の施設が多い。申し込みについて一番多いのが、チラシの中にあるQRコードからとなる。小さいお子さんをお持ちのご家庭は、QRコードを読み込んで、そこですぐに申し込むというのが一番ノーマルなやり方ようで、ほとんどの方がそれで申し込まれている。また、保育園、幼稚園のお母さん同士で誘い合って参加される方も多かったようである。

坂口委員

わかった。あまり仲間同士で参加しているという感じではなくて、お互いに知らないが仲よく遊んでいるという様子で、非常にいい雰囲気だった。みんなどうやって知るのだろうと思ったが、QRコードが多いのか。ぜひ4回と言わず、好評なら何回でもやっていただけたらと思う。リーダーが大変上手にリードされていて、よかったと思う。

教育長

各回20組ぐらいの募集で、実際の参加者はほとんどが20組以下ということだが、申し込み状況はどうだったのか。

子育て支援課長

年齢が3歳から未就学児ということで、どうしても当日、体調不良でのキャンセルが出てくる。申し込みは、その日のうち、もしくは数日でいっぱいになるという状況がほとんどであった。試行では、午前と午後の両方やったのだが、午後はお昼寝等があるので、本格実施するにあたっては午前中だけとすることも考えている。また、季節や、起伏が多い少ないなどの実施をする場所によって、3歳、4歳のお子さんが参加しやすい

ところと、6歳に近いお子さんが参加しやすいところがあるようなので、募集人員については、その辺のところも含めて検討していきたいと思っている。それによって必要なスタッフの数も変わってくるので、募集の結果や、実施をする団体と協議の上、効果的なやり方を考えていきたい。

#### 高柳委員

私も3回目を少し見学させていただいたが、大変いい取組だと思った。子育て中の保護者の中には、子供たちをどうやって外で遊ばせたらいいのかわからないとか、また、近くに同じような年代の方がいなくて、こういう取組があったらいいなと思っているご家庭も多いと思う。今後、本格実施されると、口コミとかで広がっていくと思うが、その経過を踏まえながら、回数を増やしていくことなど検討していただければありがたい。

質問である。3歳以上の未就学児と保護者が対象ということだが、同様の事業を小学校低学年とかで今実際にやっているのか、また、今後やろうとする予定はあるのか。こういう事業が小学校低学年ぐらいであるといいと思うので、その辺はどうなのかお聞かせいただきたい。

#### 子育て支援課長

今回、報告させていただいたのは移動型外遊びの場の「おひさまてくてく」であるが、それ以外にも拠点型、出張型の外遊びの場がある。例えば拠点型だと、3期休業中と第2土曜日を除いた土曜日と日曜日に光が丘公園で、各回130名程度という形で行っている。これについては、大きなお子さん、高校生年代まで含めて参加をされている。

また、出張型ということで、地域団体とコラボしてやっているものもある。大泉中央公園では月2回、1日につき90名、新しく始めた夏の雲公園では第2土曜日、日曜日に、1日につき100名以上という形でやっている。こちらは割と小さなお子さんが多いが、大きなお子さんまで含めて参加をされている。それから、これ以外に、小学校の校庭でも行っている。こちらは小学校の校庭で行っているため、当然ながら小学生が参加されていて、かなり好評である。これからも学校応援団と協力しながら、進めていければと考えている。

#### 高柳委員

わかった。

#### 教育長

ほかにいかがか。

#### 新井委員

すばらしい企画だと思うし、ぜひこれから拡大、充実させていただきたいと思う。以前、神奈川県で、段ボールで大きな遊具をつくって、子供たちと土手滑りをやったことがある。土手、川のある風景の中で、近くの保育園を拠点に、家族支援という視点から、障害のある子供たちが月に1回集まって土手滑りやパラシュートを行っていた。普

段できないことを経験して、子供たちもとても喜んでいた。ぜひ、そういったことも参考にしていただいて、外遊びを広げていただければありがたいと思う。

教育長

ほかにいかがか。

伊神委員

光が丘のプレーパークは、私も子供が大変お世話になって何度も拝見させていただいた。今回の「おひさまてくてく」に参加する保護者は、お母さんたちが多いのだろうか。お父さんの参加はどうだったのか。

子育て支援課長

週末は、やはりお父さんも多く参加される。私も3回目の石神井公園のときに行ったが、お父さんとお子さんだけで参加されている方もいた。参加された方同士が、そこでお友達になるということもあるようである。

伊神委員

私は、よく1歳児、2歳児を連れて光が丘公園に行くことがある。そのときに、お父さんたちが子供を連れてくるところを見かけるが、お父さんたち同士は全く話さず、自分の子供しか見ていないことが多い。そういった姿を見たときに、若いお父さんたちもこういうところで学ばれるといいなと思った。お父さんたちがこういうところに参加して、学んでいただくことで、教育に対しても学校に対しても、考えの幅が広がるのではないかと思っている。ぜひ、お父さんたちに向けてもこの事業を発信していただきたいと思うので、よろしく願います。

坂口委員

すごく大事なことだと思う。親が突っ立って、子供が遊んでいるのを見ているという姿をよく見かけるが、親も巻き込んでやるのが大切である。

新井委員

今伊神委員のお話を聞いて、サタデーパパという日をつくっているグループを思い出した。家族支援、地域支援という視点で、お父さんと一緒に遊ぶ日を企画の中で位置づけて年に何回かやっていた。

教育長

ほかにいかがか。よろしいか。

それでは、報告の⑥番をお願いします。

こども施策企画課長

資料に基づき説明

教育長

第2期の子ども・子育て支援事業計画の素案がまとまったので、報告するものである。これは、私たちがやっている子育て事業の基本となる計画である。何かご質問、ご意見はあるか。

伊神委員

33ページの、ジュニアリーダーから青年リーダーになられるお子さんについてである。長い間感じていたことだが、一生懸命ジュニアリーダーをやった後、青年リーダーになって、イコール地域活動スタッフになるという流れがなかなか追いついていないと思う。人数的にも減ってしまうのが現状であるし、活躍の場も単発的なものしかなかったように感じていた。青年リーダーの活躍を私はすごく期待していて、こういった年代のお姉さん、お兄さんが小学生は大好きなので、そういった場での活躍の場をもっと広げられないだろうかと思っている。最終的には地域活動スタッフになってくれると思うので、地域に任せるのではなく、縦割りではなく、ぜひそういう活動を全体的に広げていってほしいと思う。例えば、夏休みの間に「ねりっこクラブ」とかで何かできたら、きっと広がっていくのかなと想像している。

教育長

青年リーダーの役割とかあり方が大事だということは、我々も十分承知している。今、青少年委員会の今後のあり方を議論する中で、青年リーダーにもう少し活躍してもらおう形にできないか、青少年委員会とも話をしているところである。また具体的になったら委員会の中でもご報告させていただき、ご意見をいただければと思っている。ほかにいかがか。

坂口委員

質問である。64ページ、ニーズ調査の結果の(3)②に相談者がいる人の相談先という項目がある。練馬区には区独自のさまざまなフォローするシステムがあり、いろいろ選択肢があると思うが、この調査は複数回答なのか。

こども施策企画課長

複数回答である。

坂口委員

わかった。例えば、子育てひろば「にこにこ」、「ぴよぴよ」で相談したことがあるとか、そういう質問が別にあれば、もう少しパーセンテージが上がったのかもしれないと思った。65ページの子育てを楽しんでいるかについての項目では、非常にたくさん方が楽しいと感じているという回答で、とてもうれしく思う。

教育長

ほかにいかがか。

新井委員

29ページの(4) 重度障害児等への支援の充実に、医療的ケアの充実があり、関係者の方は大変期待をしているところである。それから、30ページの(3) 小中学校・保育園・幼稚園などにおける障害児・医療的ケア児への保育等の充実についても、大変うれしく思う。

質問だが、実際の医療的ケアの手技を行うのは、看護師なのか。

学務課長

看護師である。

新井委員

常駐とか、訪問とか、地域によっていろいろだと思うが、これはどのようなシステムなのか。

学務課長

小中学校では2パターンある。1つは、私どもが非常勤看護師という形で雇用し、医療的ケアの手技が必要なときに学校に派遣するというパターン。もう1つが、現在、モデル事業として行っているが、地域の訪問看護ステーションに業務委託をして、訪問看護ステーションの看護師が学校を訪問するという形の2パターンがある。

新井委員

わかった。

教育長

ほかにいかがか。

高柳委員

子供と子育て家庭の支援とか、子供の教育・保育の充実ということで、大変すばらしい内容でまとまっていると思う。特に支援を必要とする子供、家庭への取組、それから、先ほど説明があったが、青少年の健全育成・若者の自立支援については、国でも何年も前から課題になっているので、ぜひこの辺に焦点をあてた取組をしていただきたいと思う。大事なことなので、よろしく願います。

教育長

また個別の事業そのものも含めて、教育委員会で議論することがあると思う。一応、こういう形で素案がまとまったということで、ご理解をいただきたいと思っている。

それでは、次に移る。報告の⑦番をお願いする。

保育課長

資料に基づき説明

教育長

保育料の算定の誤りについて、説明があった。  
何かご質問、ご意見はあるか。よろしいか。

委員一同

はい。

教育長

それでは、その他に口頭報告があるようなので願います。

青少年課長

令和2年健やかカレンダーの配布について説明する。お手元にカレンダーを配付させていただいている。

今回は、区内小中学生の応募作品が、小学生が1,861点、中学生が502点、合計で2,363点あった。このうち、選ばれた12作品を掲載させていただいている。

なお、12月1日号の区報で配布のお知らせをしているところである。また、応募作品のうち入選作品240点の原画展を区役所1階アトリウムで、12月20日金曜日から来年1月7日火曜日まで開催する。

報告は以上である。

教育長

何かご質問、ご意見はあるか。よろしいか。

委員一同

はい。

教育長

その他の報告は何かあるか。

教育総務課長

特段ない。

教育長

それでは、以上で第23回教育委員会定例会を終了する。